

福岡県医発第593号（総）

平成16年6月25日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 竹 嶋 康 弘



脾臓移植希望者（レシピエント）選択基準及び腎臓移植希望者
（レシピエント）選択基準における型の取扱いについて

標記について、福岡県保健福祉部長より別紙のとおり通知がありました。
つきましては、貴会におかれましてもご了知いただき、会員への周知方よろ
しくお願い申し上げます。

「公印省略」

1 6 健 第 8 3 3 号
平成16年6月15日

社団法人福岡県医師会長
社団法人福岡県病院協会長 殿
社団法人福岡県私設病院協会長

福岡県保健福祉部長
(健康対策課疾病対策係)

膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準及び腎臓移植希望者
（レシピエント）選択基準における型の取扱いについて

このことについて、別添のとおり厚生労働省健康局長から通知がありましたので、貴管下医療機関への周知につきよろしくお願いします。

六

健 発 第0607001号

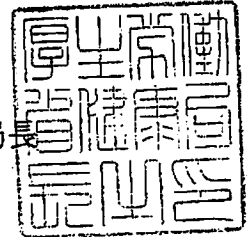
平成16年6月7日

各

都道府県知事
指定都市市長
中核市市長

 殿

厚生労働省健康局長



膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準及び腎臓移植希望者（レシピエント）
選択基準における型の取扱いについて

膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準及び、腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱いについては、「膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正及び腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準における型の取扱いについて」（平成13年10月10日 健発第984号）に基づき実施されているところであるが、HLA 型の取扱いについて、別添のとおりとすることとし、社団法人日本臓器移植ネットワーク理事長宛に通知したところである。

ついては、貴管内における移植医療のため、医療機関等関係者に対する周知方につき御協力願いたい。



健 発 第0607001号

平成16年6月7日

社団法人日本臓器移植ネットワーク理事長 殿

厚生労働省健康局長



「膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準及び腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱いについて」の一部改正について

膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準及び、腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱いについては、「膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正及び腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱いについて」（平成13年10月10日 健発第984号）別添2に基づき実施されているところであるが、同通知における HLA 型のミスマッチ数の考え方は、「レシピエントが有していない HLA 型で、かつ、ドナーが有している HLA 型の種類の数とする」というものであるので、この原則に基づき、同通知別添2を改正し、別添のとおりとする。

貴殿におかれては、当該取扱いを遵守して、適正な医療の推進に努められたい。

臓器移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱い

1 グループ抗原（親抗原）とスプリット抗原（子抗原）の取扱い

(1) ドナーのHLA型がスプリット抗原である場合において、

- 1) レシピエントのHLA型がドナーと同一のスプリット抗原であるか、そのグループ抗原である場合、ドナーとレシピエントのHLA型が0ミスマッチであるものとして取り扱うが、その際、スプリット抗原保有者をグループ抗原保有者より優先させることとし、
- 2) レシピエントのHLA型がドナーと同一グループ内の異なるスプリット抗原（兄弟）である場合は、1ミスマッチであるものとして取り扱う。

例1) ①0ミスマッチ、②0ミスマッチ、③1ミスマッチとして取扱うが、その際、①と②においては②を優先させることとする。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	DR 1 1	DR 5
②	DR 1 1	DR 1 1
③	DR 1 1	DR 1 2

- (2) ドナーのHLA型がグループ抗原である場合において、レシピエントのHLA型がドナーと同一のグループ抗原であるか、又はそのスプリット抗原である場合、0ミスマッチであるものとして取扱う。

例2) ①、②いずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	DR 5	DR 5
②	DR 5	DR 1 1

- (3) ただし、ドナーのHLA型がA 9、A 10、B 17及びB 70（グループ抗原）かそれらに属するスプリット抗原である場合には、上記 1 (1) を適用せず、グループ抗原とそのスプリット抗原者をいずれも同等として取扱う。

例 3) ①、②、③いずれも 0 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	A 2 4	A 9
②	A 2 4	A 2 4
③	A 2 4	A 2 3

〈理由〉 A 9、A 10、B 17及びB 70（グループ抗原）かそれらに属するスプリット抗原である場合に、1 (1) を適用しない理由

- ① 血清学検査で同定することが技術的に困難なスプリット抗原であること
- ② 日本人のHLA型としては極めて稀なスプリット抗原であるために、その他のスプリット抗原として同定されている場合とそれらの抗原の属するグループ抗原として同定されている場合との間に実質的に差異が無いこと等

2 ダブル抗原とブランクの取扱い

- (1) ドナーのHLA型がダブル抗原であり、レシピエントの抗原が同じ座において、①ドナーと同一の抗原 2 個、②ドナーと同一の抗原 1 個+ブランク、③ドナーと同一の抗原 1 個+他の抗原 1 個である場合、①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取扱う。

また、ドナーのHLA型がダブル抗原であり、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が存在しない場合には、いずれも 1 ミスマッチとして取扱う。

例 4) ①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

④、⑤、⑥はいずれも 1 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	A 9、A 9	A 9、A 9
②	A 9、A 9	A 9、—（ブランク）
③	A 9、A 9	A 9、A 2
④	A 9、A 9	A 2、A 1 1
⑤	A 9、A 9	A 2、—（ブランク）
⑥	A 9、A 9	A 2、A 2

(2) ドナーのHLA型にブランクが存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が1つ以上存在する場合には、すべて0ミスマッチとして取扱う。

また、ドナーのHLA型にブランクが存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が存在しない場合には、すべて1ミスマッチとして取扱う。

例5) ①、②、③はいずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。
④、⑤、⑥はいずれも1ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	B 7、－ (ブランク)	B 7、－ (ブランク)
②	B 7、－ (ブランク)	B 7、B 7
③	B 7、－ (ブランク)	B 7、B 13
④	B 7、－ (ブランク)	B 8、－ (ブランク)
⑤	B 7、－ (ブランク)	B 8、B 8
⑥	B 7、－ (ブランク)	B 8、B 13

注釈)

- 1 レシピエント選択基準におけるHLA型の取扱いについては、HLA型に関する検査技術を始め、関係分野の進歩を踏まえて、今後も適宜見直し等を実施することとする。
- 2 上記の細則実施時期に関して、HLA型の取扱いについては、コンピューター・システム上の対応、検査体制の充実等を踏まえて、実施体制が整い次第できるだけ早期に実施することとする。

抗原一覧（A座）

グループ抗原（親抗原）	スプリット抗原（子抗原）
A 1	
A 2	
A 3	
A 9	A 2 3 A 2 4
A 1 0	A 2 5 A 2 6 A 3 4 A 6 6
A 1 1	
A 1 9	A 2 9 A 3 0 A 3 1 A 3 2 A 3 3 A 7 4
A 2 8	A 6 8 A 6 9
A 3 6	
A 4 3	
A 8 0	

* 1 非独立子抗原は、親抗原と同等とする。

（例）A 11. 1、A 11. 2は、いずれもA 11として取扱う

* 2 孫抗原は、独立子抗原と同等とする。

（例）A 26. 1、A 26. 2、A 26. 3は、いずれもA 26として取扱う

抗原一覧 (B座)

グループ抗原 (親抗原)	スプリット抗原 (子抗原)
B 5	B 5 1 B 5 2
B 7	
B 8	
B 1 2	B 4 4 B 4 5
B 1 3	
B 1 4	B 6 4 B 6 5
B 1 5	B 6 2 B 6 3 B 7 5 B 7 6 B 7 7
B 1 6	B 3 8 B 3 9
B 1 7	B 5 7 B 5 8
B 1 8	
B 2 1	B 4 9 B 5 0
B 2 2	B 5 4 B 5 5 B 5 6
B 2 7	
B 3 5	
B 3 7	
B 4 0	B 6 0 B 6 1
B 4 1	
B 4 2	
B 4 6	
B 4 7	
B 4 8	
B 5 3	
B 5 9	
B 6 7	
B 7 0	B 7 1 B 7 2
B 7 3	
B 7 8	
B 8 1	

抗原一覧（DR座）

グループ抗原（親抗原）	スプリット抗原（子抗原）
DR 1	
DR 2	DR 1 5 DR 1 6
DR 3	
DR 4	
DR 5	DR 1 1 DR 1 2
DR 6	DR 1 3 DR 1 4
DR 7	
DR 8	
DR 9	
DR 1 0	
DR 1 4	

新旧表

旧	新																																																							
腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱い	臓器移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱い																																																							
2. ダブル抗原とブランクの取扱い （1）ドナーの HLA 型がダブル抗原であり、レシピエントの抗原が同じ座において、①同一抗原 2 個、②同一抗原 1 個＋ブランク、③同一抗原 1 個＋他の抗原 1 個である場合、①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取り扱う。	2. ダブル抗原とブランクの取扱い （1）ドナーの HLA 型がダブル抗原であり、レシピエントの抗原が同じ座において、①ドナーと同一の抗原 2 個、②ドナーと同一の抗原 1 個＋ブランク、③ドナーと同一の抗原 1 個＋他の抗原 1 個である場合、①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取り扱う。 <u>また、ドナーの HLA 型がダブル抗原であり、レシピエントの HLA 型にドナーと同じ抗原が存在しない場合には、いずれも 1 ミスマッチとして取り扱う。</u>																																																							
例 4）①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。	例 4）①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。 <u>④、⑤、⑥はいずれも 1 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。</u>																																																							
<table><tr><td></td><td colspan="2">ドナーの HLA 型</td><td colspan="2">レシピエントの HLA 型</td></tr><tr><td>①</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A9</td></tr><tr><td>②</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A9</td><td>－（ブランク）</td></tr><tr><td>③</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A2</td></tr></table>		ドナーの HLA 型		レシピエントの HLA 型		①	A9	A9	A9	A9	②	A9	A9	A9	－（ブランク）	③	A9	A9	A9	A2	<table><tr><td></td><td colspan="2">ドナーの HLA 型</td><td colspan="2">レシピエントの HLA 型</td></tr><tr><td>①</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A9</td></tr><tr><td>②</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A9</td><td>－（ブランク）</td></tr><tr><td>③</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A2</td></tr><tr><td>④</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A2</td><td>A11</td></tr><tr><td>⑤</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A2</td><td>－（ブランク）</td></tr><tr><td>⑥</td><td>A9</td><td>A9</td><td>A2</td><td>A2</td></tr></table>		ドナーの HLA 型		レシピエントの HLA 型		①	A9	A9	A9	A9	②	A9	A9	A9	－（ブランク）	③	A9	A9	A9	A2	④	A9	A9	A2	A11	⑤	A9	A9	A2	－（ブランク）	⑥	A9	A9	A2	A2
	ドナーの HLA 型		レシピエントの HLA 型																																																					
①	A9	A9	A9	A9																																																				
②	A9	A9	A9	－（ブランク）																																																				
③	A9	A9	A9	A2																																																				
	ドナーの HLA 型		レシピエントの HLA 型																																																					
①	A9	A9	A9	A9																																																				
②	A9	A9	A9	－（ブランク）																																																				
③	A9	A9	A9	A2																																																				
④	A9	A9	A2	A11																																																				
⑤	A9	A9	A2	－（ブランク）																																																				
⑥	A9	A9	A2	A2																																																				

(2) ドナーのHLA型に空白が存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が1つ以上存在する場合には、すべて0ミスマッチとして取扱う。

例5) ①、②、③はいずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーの HLA 型	レシピエントの HLA 型
①	B 7、- (空白)	B 7、- (空白)
②	B 7、- (空白)	B 7、B 7
③	B 7、- (空白)	B 7、B 13

(2) ドナーのHLA型に空白が存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が1つ以上存在する場合には、すべて0ミスマッチとして取扱う。

また、ドナーのHLA型に空白が存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が存在しない場合には、すべて1ミスマッチとして取扱う。

例5) ①、②、③はいずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

④、⑤、⑥はいずれも1ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーの HLA 型	レシピエントの HLA 型
①	B 7、- (空白)	B 7、- (空白)
②	B 7、- (空白)	B 7、B 7
③	B 7、- (空白)	B 7、B 13
④	B 7、- (空白)	B 8、- (空白)
⑤	B 7、- (空白)	B 8、B 8
⑥	B 7、- (空白)	B 8、B 13